



無事故無災害を 安衛大会で誓う

早水組

【網走】早水組（本社・網走）は10日、市内の

オホーツク文化交流センターで安全衛生大会を開いた。写真。協力会社を含めて会場で約250人、オンラインで約30人が参加し、無事故無災害を誓った。

津田忠克社長はあいさつで「建設業を取り巻く環境は変革期を迎えているが、安全に向き合う意識は変えてはならない」と求めた。

労働と交通の安全決意宣言後、落語家の笑生十八番さんが「北海道安全落語」を講演。江戸の町

と文化を支えた相互扶助、笑いをもたらす脳の効用などを説きながら、安全対策を促した。